



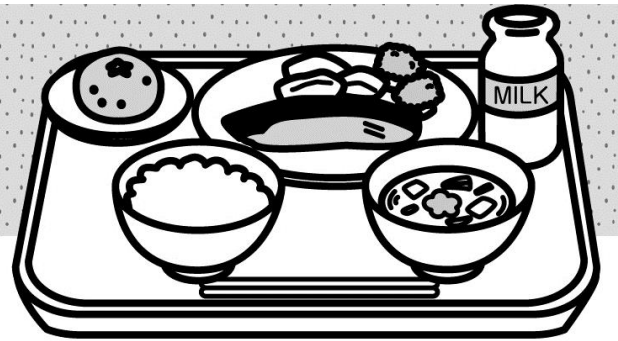
きゅうしよくニュース



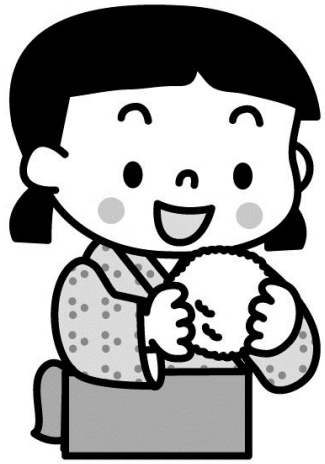
平成29年1月 池田松川学校給食センター

がつ か
1月24日
~30日

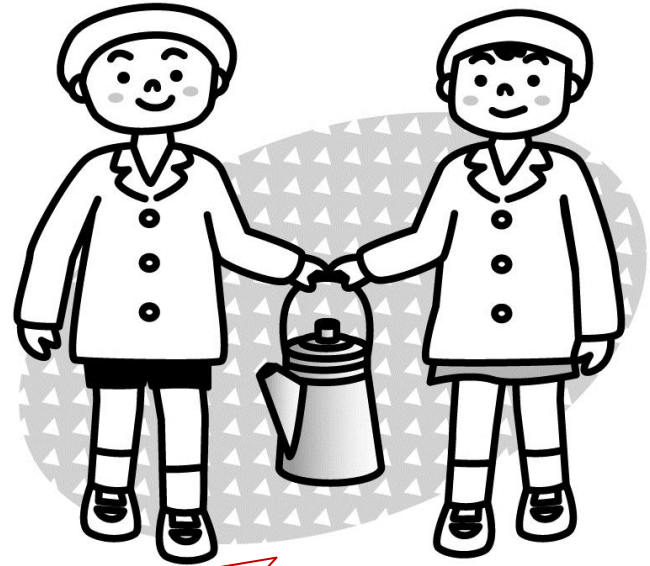
ぜん こく がっ こう きゅう しよく しゅう かん 全国学校給食週間



がっ こう きゅう しよく れ き し 学校給食の歴史



めいじ ねん やまがたけん しりつちゅうあい
明治22(1889)年に山形県にある私立忠愛
しょうがっこう まず べんとう も
小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられ
ない子どもたちのために昼食を提供した
のが始まりとされています。その後、全国へ
ひろ せんそう しよくりょうぶそく
広まりますが、戦争による食料不足のため、中止せざるをえなくなりました。

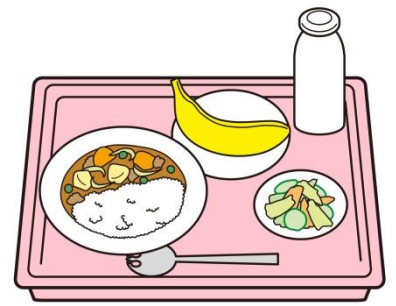
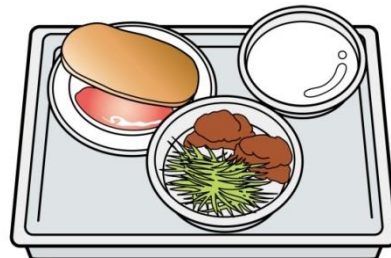
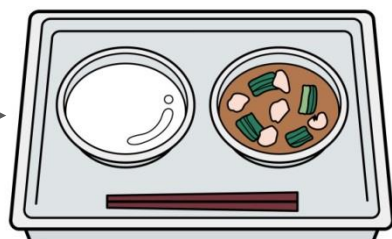
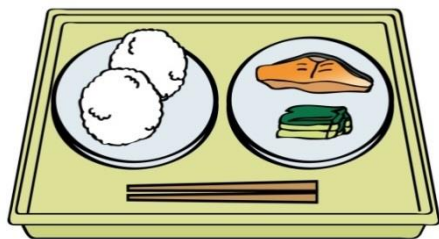


だっしふんにゆう つく
脱脂粉乳で作られたミルクは、
おお
大きなミルクポットに入れられ
て教室に運ばれました。

せんそう お
戦争が終わり、しょうわ ねん がっこうきゅうしよく さいかい
昭和22(1947)年に学校給食が再開され
ます。子どもたちのえいようぶそく かいぜん がいこく しえんだん
栄養不足を改善するため、外国の支援団
たい とど だっしふんにゆう こむぎこ かんづめ つか
体などから届けられた脱脂粉乳や小麦粉、缶詰などを使っ
た給食が提供されました。

がっ こう きゅう しよく 学校給食のあゆみ

こんだて とうじ いちれい
* 献立は当時の一例です



めいじ ねん
明治22年
おにぎり、塩さけ、漬物
まず べんとう も こ
貧しくてお弁当を持って来ら
れない子どもたちに昼食を
出したことが始まりです。

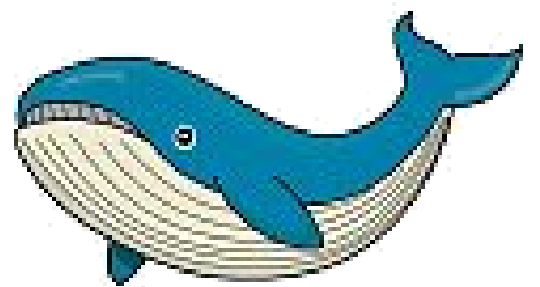
しょうわ ねんころ
昭和22年頃
だっしふんにゆう しよ
脱脂粉乳、みそ汁
せんご えいよう た こ
戦後、栄養の足りない子ども
たちのために、外国からの
しえんぶつし つか きゅうしよく てい
支援物資を使った給食が提
供されました。

しょうわ ねんだい
昭和30年代
だっしふんにゆう
脱脂粉乳、コッペパン
たつたあ
くじらの竜田揚げ
パン、おかず、ミルクがそろ
った給食になり、今は食べ
る機会の少ないくじら肉がた
びたび出されていました。

しょうわ ねんだい
昭和40~50年代
ぎゅうにゆう
牛乳、カレーライス
やさしい しお くだもの
野菜の塩もみ、果物
ぎゅうにゆう とうじょう
牛乳が登場し、ごはん
給食も始まりました。献立
はバラエティに富んだ、豊か
な内容になってきました。

がつ か きゅうしよくきねんび きゅうしよく
1月24日は給食記念日・・・給食では、くじら肉が登場します！

げんざい きゅうしよく えいよう みな せいちょう ささ
現在の給食は、栄養バランスがよく、皆さんの成長を支えている
だけでなく、大切な「食」について学ぶ機会にもなっています。
がつ か むかし きゅうしよく とうじょう にく た
1月24日は、昔の給食によく登場していた「くじら肉」を食べ
ることで、給食の歴史について興味を持ってほしいと思います。
そして、まいにちあ まえ で しよくじ かんしゃ きも わす
そして、毎日当たり前に出てくる食事への感謝の気持ちを忘れずに
いたいものですね。



むかし きゅうしよく きちよう げん
昔の給食で、貴重なたんぱく源
だったくじら肉